

令和 8 年度 茂森庁舎外消防設備点検業務

仕 様 書

弘前市上下水道部

## 第1条（適用）

本仕様書は、弘前市上下水道事業弘前市長（以下「発注者」という。）が委託する表題の業務に適用する。

## 第2条（目的）

本業務は、設備等の機能維持を図るため、当該機器等の点検調整を行い、あわせて劣化及び摩耗等について技術的評価を行うものである。

## 第3条（法令等の遵守）

- 1）受注者は、本業務の実施に当たり関係する法令、条例、規則等（以下「関係法令等」という。）を遵守する。
- 2）受注者は、資格等（資格、検定、認定等）を必要とする作業は、当該有資格者に行わせるものとする。

「関係法令等」とは、河川法、計量法、建築基準法、消防法、高圧ガス保安法、水道法、騒音規制法、電気事業法、電波法、電気通信事業法、道路交通法、道路法、労働安全衛生法、労働基準法、その他関係する法令、条例及び規則をいう。

## 第4条（基本事項）

- 1）本業務は、契約書、本仕様書及び図面に基ついて行うこと。
- 2）本仕様書及び図面に明示されていない事項であっても、業務の性格上、当然必要なものは施行する。
- 3）本仕様書等に疑義がある場合は、発注者と受注者との協議によりこれを決定する。

## 第5条（用語）

本仕様書で使用する用語の定義は、次による。

- 1）保守とは、機器の必要とする性能又は機能を維持することをいい、消耗部品又は材料の取替、注油、汚れ等の除去、部品調整等の軽微な作業を含む。
- 2）点検とは、機器の機能及び劣化の状態を調べることをいい、機器の機能に異常又は劣化がある場合は、必要により対応措置を判断することを含む。
- 3）調整とは、機器の状態を指定された性能、仕様等に適合するように整えることをいう。
- 4）技術的評価とは、機器の劣化や摩耗等について状況を評価し、機器の機能維持に必要な措置や機器の寿命等を判断することをいう。

## 第6条（担当職員）

担当職員は、本共通仕様書に定めるもののほか、必要に応じ業務の履行に立合い、受注者に対し指示等を行うことができる。

## 第7条（安全管理）

- 1）受注者は作業に当たり、関係法令等を遵守し労働災害、公衆災害等の防止に必要な措置を講じ、常に安全管理に努める。
- 2）受注者は作業に当たり、酸素欠乏危険箇所及び薬液等の漏洩が予想される箇所、高所・地下並びに道路上での作業、その他特に危険が予想される箇所では事故防止に努める。
- 3）受注者は、火気を使用する場合、十分な防火措置を講じる。

## 第8条（衛生管理）

受注者は、水道施設構内又はその付近での点検調整作業に当たって、水道法等関係法令を遵守し、衛生管理に十分注意する。

## 第9条（作業時間）

本業務の作業時間は、発注者の規定に従うこと。ただし、時間外作業を行う場合は、事前に発注者の承認を得るものとする。

## 第10条（作業用工器具等）

作業用工器具及び作業用消耗品は、原則として受注者が持参したものを使用し、水質汚染防止処置を施すこと。

第11条（作業用電力及び作業用水）

作業用電力及び作業用水は、原則として発注者より支給する。

第12条（工程等の打合）

受注者は、発注者と工程等について事前に打合せをする。

第13条（業務対象場所）

業務を行う設備対象場所は、別紙のとおりである。

第14条（業務期間）

業務期間は、別紙のとおりである。

第15条（点検対象設備仕様）

点検を行う対象設備は、別紙のとおりである。

第16条（点検内容）

点検内容は、別紙のとおりである。

第17条（発生品の処分）

作業で発生した部品材料等は、受注者の責任により合法的に処分する。

第18条（事故及び機器の不具合）

作業時及び終了後、受注者の責任に帰する事故及び機器の不具合については、受注者の責任と負担によりすみやかに処置し、担当職員の確認を得ること。ただし、責任の所在が明確でない場合は、その都度、発注者と受注者との協議により定める。

第19条（点検結果報告書及び作業写真の提出）

点検結果報告書及び作業写真は、別紙のとおり提出すること。

第20条（環境配慮に係わる取り組みへの協力要請）

受注者は発注者が実施する環境配慮に係る取り組みへの協力要請に対して、可能な限りこれに協力すること。なお、仕様書で指定されている項目以外については、あくまでも協力をお願いであり、取り組みを強制するものではないが、可能な限り実施すること。

第21条（暴力団又は暴力団関係者による不当介入に対する通報・報告義務）

受注者は、受注者及び下請負人に対して暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合は、警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。

第22条（情報セキュリティポリシーの遵守）

受注者は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持つとともに、業務の遂行に当たって「弘前市情報セキュリティポリシー」を遵守すること。

以上

## 令和 8 年度 茂森庁舎外消防設備点検業務 別紙

### 1. 業務概要

消防法第十七条の三の三に基づき、茂森庁舎及び茜町倉庫に設置されている消防設備の点検を委託するものである。

### 2. 業務対象場所

茂森庁舎 : 弘前市大字茂森町 4 0 番地 1  
 茜町倉庫 : 弘前市大字茜町二丁目 9 番地 7

### 3. 業務期間

令和 9 年 1 月 2 9 日までとする。

### 4. 業務実施時期

第 1 回目 6 ～ 7 月、第 2 回目 1 2 ～ 1 月とする。

### 5. 業務対象設備

○茂森庁舎

設 備	種 類	数 量
自動火災報知設備	受信機	P 型 1 級
	同上予備電源	
	熱感知器	差動式スポット型
	熱感知器	定温式スポット型
	煙感知器	スポット型 イ・ン・光電式
	発信器	P 型 1 級
屋内消火栓設備	加圧式送水装置	
	制御盤	
	消火栓	
	起動用スイッチ	
	表示灯	
	音響装置	
	水源	貯水槽、給水装置、バルブ 類
	呼び水装置	
	放水試験	
誘導灯	避難口	C 級
	通路	C 級
消火器具	粉末消火器	
共通	配線	絶縁抵抗測定及び配線点検

○茜町倉庫

消 防 設 備		種 類	数 量
自動火災報知設備	受信機	P型2級5回線	1面
	同上予備電源	蓄電池12V、0.6Ah	1組
	熱感知器	差動式スポット型2種	1個
	煙感知器	スポット型イニ化式	18個
	煙感知器	スポット型イニ化式(高所)	8個
	煙感知器	スポット型光電式	10個
	発信器	P型2級	3個
	表示灯	AC30V、2W	3灯
	ベル(音響装置)	DC24V、φ150mm	4個
誘導灯	階段通路	40W1灯用	5灯
	避難口	20W1灯用	1灯
消火器具	粉末消火器		4本
共通	配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	1式

## 6. 業務内容

点検時期	業務内容
第1回目 6～7月	外観点検、機器点検
第2回目 12～1月	外観点検、機器点検及び総合点検

## 7. 点検及び結果

- (1) 点検結果については、基準に示された判定方法に基づくものであること。
- (2) 第1回目の点検後、消防庁告示で定めた様式の点検報告書を1部、業務写真帳を1部提出すること。また、第2回目の点検後は、点検報告書を2部、業務写真帳を1部提出し、点検報告書に発注者の承諾の押印後、弘前地区消防事務組合に届け出ること。その後、発注者の控えとなる点検報告書を1部提出するものとする。

## 8. その他

- (1) 点検にあたっては、点検対象となる施設の状況を把握の上、施設規模の大小にかかわらず施設現場にあわせて実施すること。
- (2) 本仕様書は、消防設備の点検業務の概要を示すものであり、軽微なものについては本仕様書に記載されていない事項であってもこれに付帯し、機器の管理上必要と認められるものについては、現状に応じて業務の金額の範囲内でこれを実施するものとする。